



終わりの見えない
膀胱炎の痛み
がもたらした
自己対話

日本ホメオパシーセンター岐阜北方 溝口彩子

JPHMA認定ホメオパスNo.1128 JPHF認定フラワーエッセンス療法士

相談会の経緯・主訴

40代女性。娘の予防接種後の排出を目的に来談。接種させたことへの強い後悔を抱えていたが、聞き取りを通じてご自身の相談の必要性に気づき正規相談へ移行。

主な症状

小学生頃からの膀胱炎。2021年以降、再発を繰り返す。排尿時に頭頂部まで突き抜けるような鋭い痛み。ストレス・疲労・甘味・睡眠不足で悪化。鼻汁による鼻根部の重だるさと急速に進んだかすみ目もみられた。

背景

人生の節目で、信頼していた人から突然態度を変えられ、理不尽な怒りや誹謗中傷を受ける経験を複数回。自然農・旅・アウトドアを好み、仲間からの信頼が厚い。甘味を好む。



TBR検索

- 1 : 1745# 精神的影響全般から
- 2 : 1918# 労働
- 3 : 515# 月経-めったに起こらない
- 4 : 621# ぬるぬるした-鼻汁
- 5 : 1956# 体液-分泌物の滞留
- 6 : 48# かすんでいる

随時

- 液) サポートあぶり出し 肝臓・胆のうの補助、魂の傷の修復
- + Carb-v. 6C Merc-sol の影響緩和
- + Kali-p. 12X 疲労
- + Calc-s. 12X 化膿、解毒促進、みじめさ
- + Kali-bi. 6C 鼻づまり

朝

- Nat-m. LM2 かすみ、鼻づまり、月経の遅れ、だるさ (TBR1位)
- + Carc. LM3 抑圧

夜

- Merc-sol. LM4 視力の衰え、疲労、旅に出たい衝動 (TBR3位)

寝る前

- 粒) 出雲大社の手水 30C 信頼していた人を失う

経過

- ・膀胱炎の痛みは8割方改善
- ・軽い痛みは残存
- ・尿意を感じるのがぎりぎり
- ・排尿終了時に違和感
- ・鼻根部のだるさほぼ改善
- ・視力やや改善
- ・携帯電話の文字が眼鏡なしで読めるようになった



2

健康相談 | 2025. 12. 04

TBR検索

- 1 : 48# かすんでいる
- 2 : 445# 尿道
- 3 : 515# 月経-めったに起こらない
- 4 : 453# 尿意を催す



ねらい

- ・脂質代謝(かすみ目の改善目的)
- ・過去のあらゆる心身の痛みと孤独、忍耐に対して
- ・TBR検索結果 1位 Caust. と5位 Puls. を選択

随時

液) サポート 脾臓

+ Hyper. 6C

+ Bell-p. 6C

+ Arn. 6C

+ Berb. 6C

+ Euphr. 6C

エゴと靈魂の真実を明らかにする

決断力

損傷

損傷

腎臓サポート、カルマ解消の促進

頭部の粘液の滞留

朝・夜

MT) ササ

+ Caust. LM3

+ Med. LM4

+ Puls. LM5

+ Kali-m. 12X

+ Cob. 12X

血液の浄化

忍耐、脂質代謝

生殖器の問題

孤独、脂肪で悪化

粘り気のある分泌物、粘膜の抵抗力の向上

血管強化

1日おき

粒) サポート 肝臓胆のう

週1回

Anac-C-HD 30C

出産時下半身麻酔使用。会陰が大きく避け大量出血。

カンガルーケアをさせてもらえなかった。

経過

- ・ 膀胱炎による軽い痛みはほぼ消失
- ・ 鼻根部の詰まりが改善
- ・ かすみ目改善（運転中の眼鏡が不要に）
- ・ とある選考から落ちたことをきっかけに孤独感、無力感
空虚感が大きく浮上
- ・ 自己判断で 液) サポートおめえが悪いをとりはじめたら
落ち着いていた膀胱炎の再発と悪化
- ・ 尿量の極端な現象
- ・ 持続的な強い口渇



3 健康相談 | 2026.03.13

TBR検索

- 1 : 311# 渇き
- 2 : 1011# 炎症-内側部分の
- 3 : 959# 乾燥-通常湿り気のある内側部分の
- 4 : 1826# 甘いもの
- 5 : 515# 月経-めったに起こらない

随時

液) サポートカンジダ 血液浄化、肝臓の補助、感情排出
+ アクティブエレメント 膵液の補助
+ Nat-bic. 12X 膵液の補助
+ Mang-s. 12X 肝臓と循環の活性化
+ Psor. 6C 恐れ、免疫力の底上げ
+ Solid. 6C 腎臓の補助

朝

Calc. LM4 恐怖と不安、クライアントの根本体質 (TBR1位)
+ Candi-al. 30C 不信

昼

猪群山のストーンサークルのエネルギーの水 30C
他者の評価からの解放と自己への原点回帰を意図して選択

夜

Merc. LM1 痛み、遠くへ行きたい、落ち込み (TBR2位)

寝る前

戸隠れる神社・火御子社の手水 30C
他者の評価からの解放と、自己への原点回帰を後押しする目的

週1回

DPT-IPV 30C 破傷風のワクチン (2016年 2回接種)
霊的見解 自分を否定し、何をやっても無駄と無気力になり
元気がなくなる

結果

- ・膀胱炎症状は改善(疲労時、アイス摂取時も再発なし)
- ・豚骨スープ様だった尿の匂いが消失
- ・かすみ目はやや再出現するも、眼鏡なしで運転可能に
- ・「女性性の否定」「勝りたい・無意識のジャッジ」「評価への恐れ」への気づき
- ・症状出現時に食事・疲労・無理の有無を振り返る習慣がついた
- ・同じ環境でも「不快」より「ありがたい」が上回るようになった
- ・父親とはじめての衝突
- ・「家族は自分の鏡」という実感を持ち始めた頃から、家族との関係にも変化が現れた
- ・娘の予防接種に対する心境変化(相談会前 → 後)
罪悪感 10 → 3 | 後悔 10 → 2 | 心配 8 → 1 | 不安 8 → 1 |
排出への切迫感 10 → 5 | 安心感 1 → 6



考察

不思議だったのは、人生の節目ごとに「理不尽な怒り」を向ける人物が現れ、「ぞんざいな扱い」を受ける出来事が繰り返される点であった。クライアントは穏やかで思慮深く、旅や山を愛し、冒険心にあふれている。厳格な父と優しい母のもと、のびのびと育った彼女のどこに、この現象と呼応する意識が宿るのか。反復するパターンを一つの臨床情報として捉え、レメディ選択の重要な軸とした。

家族を救おうとして始まった時間は、いつしか自分自身と対話する時間へと変わっていった。もともと他者や自然へ向けられていた丁寧な観察と慈しみの眼差しは、やがて自身の心や身体にも注がれるようになった。

一人の人生に起こる偶然は、その人の個性そのものである。理解を急がず、時間と心を惜しまず、今に耳を澄ませながら、手探りで一つひとつをすくい上げていく営みこそが癒しそのものではないだろうか。

なぜ、娘ではなく母親だったのか

娘さんは、まるでビッグバンのようなエネルギーの持ち主である。自然農の野菜を食べて育ち、からだつきもしっかりしている。聡明で感情の排泄力もある。もし娘さんにケアが必要だとしても、それはクライアントとは違う切り口になると思われた。ただ、それを理解してもらうには時間が必要だった。

母親自身の中に、ホメオパシーの醍醐味が腑に落ちれば、娘さんの排出もクライアント自身の力で可能であると思われた。そこで次の問いを投げかけた。

「娘さんが砂浜の波打ち際で遊んでいるとしたら、あなたはいま、胸まで海に浸かっている状態です。水から出て、砂浜までお連れしたいと思うのですがいかがですか？」

このようにして、クライアントの相談会がはじまった。

クライアントが、相談会にどれくらいの期間と深さを望んでいるのか不明なまま相談会は進んだ。もし一度きりであったとしても、「この先の人生に残る、ホメオパシーでしかできない体験を」という視点で毎回取り組んだ。

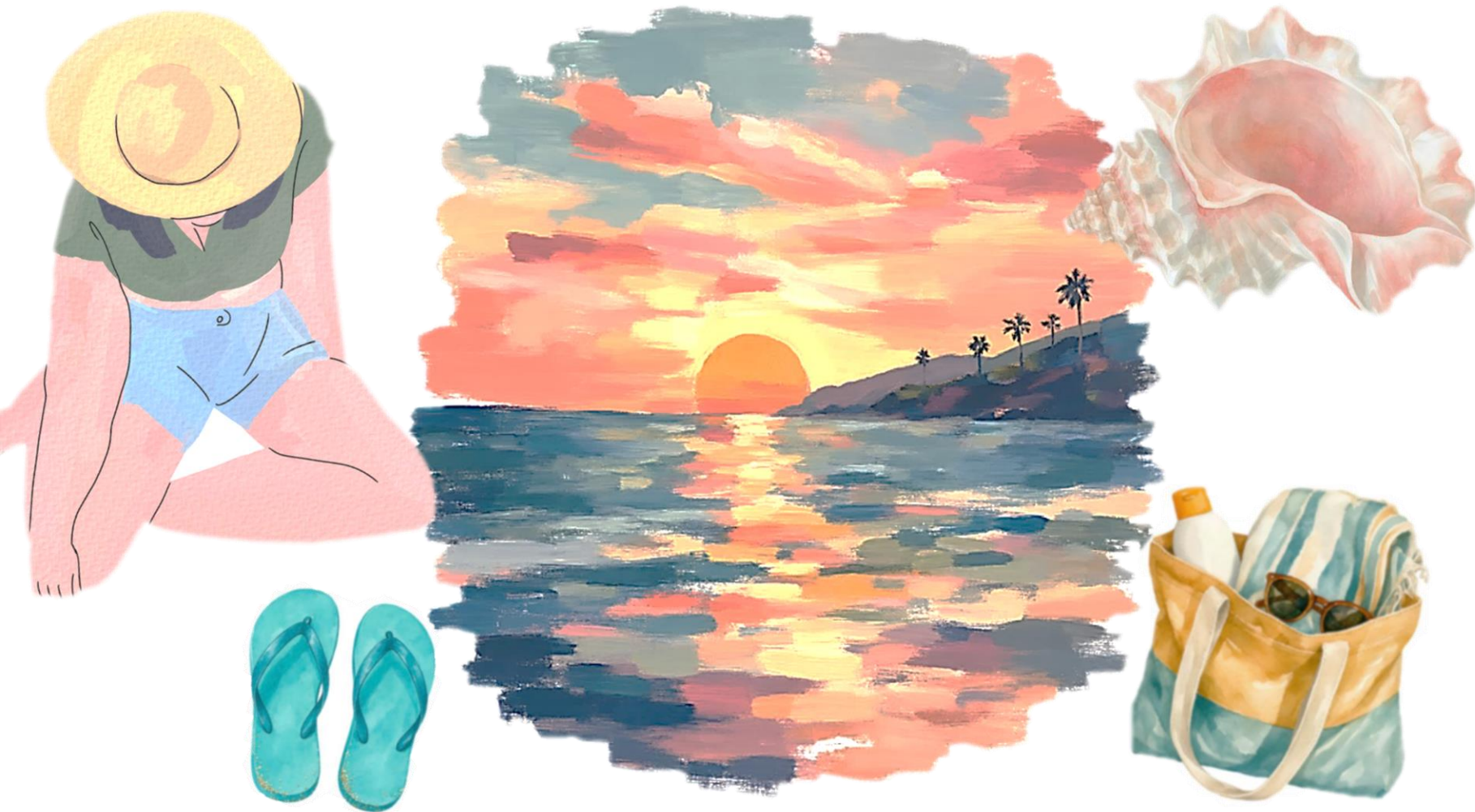
クライアントさまからの感想

夢は、暮らしている村をまるごと、自然に寄り添った暮らしのモデルケースにすることです。リアルエコヴィレッジ。都会と同じではなく、その土地だからこそできる学びと体験を、子どもたちが持って大人になってほしい。幼い頃の体験は、何ものにも変えられない財産。

子どものことで後悔したり、自分を責めたりしている方に「ひとりで抱えなくていい。ホメオパシーという選択肢もある」と安心してもらえたらと願っています。

私自身が慢性的な症状と向き合う中で感じた変化を通して、自然療法を続けることに迷いや不安を感じている人にも、新たな可能性や希望が伝わればうれしいです！

やすみ やすみ ととのえて



最後まで御覧いただき、ありがとうございました！